北海道の運輸の動き

～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和4年6月発表

概　況

1. 旅客輸送

令和4年3月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比2.0%増、対2019年同月比27.0%減、地下鉄で対前年同月比5.9%増、対2019年同月比15.9%減、路面電車で対前年同月比12.5%増、対2019年同月比18.0%減となった。

令和4年2月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比12.2%減、対2019年同月比37.6%減、貸切バスで対前年同月比8.8%減、対2019年同月比63.9%減となった。

令和4年2月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比25.0%減、対2019年同月比50.3%減となった。

2. 貨物輸送

令和4年3月のトラック（一般貨物）の輸送量は、対前年同月比13.1%減、対2019年同月比8.3%減となった。

令和4年3月の港湾運送（内航）の輸送量は、対前年同月比2.1%減となった。また、対2019年同月比は2.1%増となった。

3. 観光

令和4年3月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比32.3%増となった。また、対2019年同月比は31.0%減となった。

4. 車両数

令和4年4月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は2.3%減、乗用自動車（軽）は15.6%減、貨物自動車は17.4%減、貨物自動車（軽）は13.2%減となった。

また、対2019年同月比について、乗用自動車（普通・小型）は24.6%減、乗用自動車（軽）は23.6%減、貨物自動車は18.3%減、貨物自動車（軽）は10.1%減となった。

北 海 道 運 輸 局
交通政策部　交通企画課
〒060－0042　札幌市中央区大通西10丁目
電話　011－290－2721
FAX　011－290－2716
https://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/

令和4年6月発表

1. 旅客輸送

	対前年同月比（%） 当月	先月	先々月
JR北海道	2.0	▲ 9.0	8.1
地下鉄	5.9	5.3	13.9
路面電車	12.5	7.4	17.8
乗合バス	▲ 12.2	▲ 48.7	9.2
貸切バス	▲ 8.8	8.5	29.9
ハイヤー・タクシー	▲ 25.0	6.9	25.9
内航フェリー	5.6	3.8	31.5
外航フェリー	－	－	－
国内線	48.6	59.6	134.3
国際線	－	－	－

＜凡例＞

「当月」はR4.4	「当月」はR4.3	「当月」はR4.2	「当月」はR3.12

2. 貨物輸送

	対前年同月比（%） 当月	先月	先々月
JR貨物	▲ 6.1	▲ 31.4	9.3
特別積合	2.2	▲ 0.6	0.3
一般貨物	▲ 13.1	▲ 10.8	▲ 8.5
ターミナル	集計中	▲ 0.2	1.5
内航	▲ 2.1	0.7	▲ 0.0
外航	▲ 21.7	15.1	▲ 1.0
内航コンテナ	▲ 1.1	▲ 1.9	▲ 5.9
外航コンテナ	▲ 22.2	7.3	8.6
海峡	9.5	5.9	4.9
中・長距離	3.1	4.7	▲ 3.3
国内線	5.7	22.1	1.7
国際線	▲ 73.4	▲ 63.2	▲ 49.7
普通倉庫	11.6	▲ 8.3	6.5
貯蔵槽倉庫	▲ 12.7	23.5	▲ 22.0
冷蔵倉庫	2.1	▲ 1.1	1.5

3. 観光

	対前年同月比（%） 当月	先月	先々月
延べ宿泊者数	32.3	44.3	95.2

4. 車両数

	対前年同月比（%） 当月	先月	先々月
新規登録（乗用）	▲ 2.3	▲ 12.5	▲ 15.1
新規届出（軽自動車）	▲ 15.6	▲ 24.8	▲ 19.4
新規登録（貨物）	▲ 17.4	▲ 24.6	▲ 18.4
新規届出（軽自動車）	▲ 13.2	▲ 2.8	2.2

※ 詳細は「モード別実績」のとおり

※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
今月掲載データは令和3年度第3四半期（令和3年10月～令和3年12月）分

モード別実績

目　　次

Ⅰ. 概況　1p

Ⅱ.旅客輸送

1. 鉄道
- ・JR北海道、北海道新幹線、民鉄　2p
- ・地下鉄　3p
- ・路面電車　3p

2. 自動車
- ・乗合バス　4p
- ・貸切バス　4p
- ・ハイヤー・タクシー　5p

3. 船舶
- ・内航フェリー　6p
- ・外航フェリー　6p

4. 航空
- ・国内線　7p
- ・国際線　8p

Ⅲ.貨物輸送

1. 鉄道　9p

2. 自動車
- ・特別積合　10p
- ・一般貨物　10p
- ・ターミナル　10p

3. 港湾運送
- ・内航、外航　11p
- ・内航、外航コンテナ　12p

4. 船舶
- ・海峡　13p
- ・中・長距離　13p

5. 航空
- ・国内線　14p
- ・国際線　15p

6. 営業倉庫
- ・普通倉庫　16p
- ・貯蔵倉庫　16p
- ・冷蔵倉庫　16p

Ⅳ.観光

1. 延べ宿泊者数　17p

Ⅴ.車両数

1. 旅客自動車
- ・保有台数　18p
- ・新規登録（乗用）　18p
- ・新規届出（軽自動車）　18p

2. 貨物自動車
- ・保有台数　19p
- ・新規登録（貨物）　19p
- ・新規届出（軽自動車）　19p

Ⅰ．概況

1．旅客輸送

	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比2.0%増、このうち北海道新幹線の輸送人員は同83.3%増となった。また、対2019年同月比は27.0%減、このうち北海道新幹線の輸送人員は同20.7%減となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月5.9%増、このうち定期旅客は同0.7%減、定期外旅客は同8.8%増となった。また、対2019年同月比は15.9%減、このうち定期旅客は同18.7%減、定期外旅客は同14.7%減となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比12.5%増、このうち札幌市は同13.4%増、函館市は同10.4%増となった。また、対2019年同月比は18.0%減、このうち札幌市は同9.1%減、函館市は同33.7%減となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比12.2%減、このうち定期旅客は同21.1%減、定期外旅客は同9.6%減となった。また、対2019年同月比は37.6%減、このうち定期旅客は同36.0%減、定期外旅客は同37.9%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比8.8%減となった。また、対2019年同月比は63.9%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比25.0%減、このうち札幌交通圏は同27.3%減となった。また、対2019年同月比は50.3%減、このうち札幌交通圏は同49.3%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比5.6%増、このうち道内相互間は同6.4%減、道内－道外間は同7.4%増となった。また、対2019年同月比は21.3%減、このうち道内相互間は同24.9%減、道内－道外間は同20.8%減となった。
	外航フェリー	・外航フェリーの運航実績は無かった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比48.6%増、このうち新千歳～東京（羽田）は同26.3%増となった。また、対2019年同月比は43.7%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同49.3%減となった。
	国際線	・国際線の運航実績は無かった。

2．貨物輸送

	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比6.1%減となった。また、対2019年同月比は8.5%減となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者（7社）における取扱い輸送量は、対前年同月比2.2%増、このうち宅配貨物取扱い個数は同9.9%増となった。また、対2019年同月比は5.8%減、このうち宅配貨物取扱い個数は同35.9%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者（125社）における取扱い輸送量は、対前年同月比13.1%減となった。また、対2019年同月比は8.3%減となった。
	ターミナル	集計中
	内航	・北海道内主要港（7港）における取扱い輸送量は、対前年同月比2.1%減となった。このうち移出は同4.2%減、移入は同0.1%増となった。また、対2019年同月比は2.1%増、このうち移出は同3.5%増、移入は同0.8%増となった。
	外航	・北海道内主要港（7港）における取扱い輸送量は、対前年同月比21.7%減、このうち輸出は同5.6%増、輸入は同27.6%減となった。また、対2019年同月比は11.8%減、このうち輸出は同3.6%増、輸入は同15.7%減となった。

＜凡例＞

R4.4	R4.3	R4.2	R3.12

	内航コンテナ	・北海道内主要港（7港）における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比1.1%減となった。また、対2019年同月比は5.1%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港（7港）における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比22.2%減となった。また、対2019年同月比は10.9%減となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比9.5%増、このうち下りは同10.9%増、上りは8.1%増となった。また、対2019年同月比は3.2%増、このうち下りは同1.3%増、上りは同5.1%増となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比3.1%増、このうち下りは同3.0%増、上りは同3.3%増となった。また、対2019年同月比は5.8%増、このうち下りは同4.8%増、上りは同6.9%増となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比5.7%増、このうち新千歳～東京（羽田）は同1.0%減となった。また、対2019年同月比は30.3%減、このうち新千歳～東京(羽田)は同34.1%減となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比73.4%減、このうち定期便及びチャーター便は同94.9%減、保税運送物は同48.1%増となった。また、対2019年同月比は66.0%減、このうち定期便及びチャーター便は同94.2%減、保税運送物は同366.1%増となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者（19社）における入庫高は、対前年同月比11.6%増、保管高は同6.1%減、当期末の利用率は84.4%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は13.0%減、保管高は22.1%減となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者（20社）における入庫高は、対前年同月比12.7%減、保管高は同10.2%減、当期末の利用率は64.5%となった。また、対2019年同月比は、入庫高68.8%増、保管高は11.8%減となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者（23社）における入庫高は、対前年同月比2.1%増、保管高は同1.8%増、当期末の利用率は30.6%となった。また、対2019年同月比は、入庫高は0.5%増、保管高は1.0%増となった。

3．観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比32.3%増、このうち日本人は同32.3%増、外国人は同14.8%増となった。また、対2019年同月比は31.0%減、このうち日本人は同10.9%減、外国人は同99.4%減となった。

4．車両数

	新規登録（乗用）	・北海道内における登録台数は、対前年同月比2.3%減となった。また、対2019年同月比は24.6%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数（普通・小型車）は、対前年同月比0.6%減となった。また、対2019年同月比は1.9%減となった。
	新規届出（軽自動車）	・北海道内における届出台数は、対前年同月比15.6%減となった。また、対2019年同月比は23.6%減となった。
	新規登録（貨物）	・北海道内における登録台数は、対前年同月比17.4%減となった。また、対2019年同月比は18.3%減となった。 ・北海道内における自動車保有台数（普通・小型・被牽引車）は、対前年同月比0.6%増となった。また、対2019年同月比は2.3%増となった。
	新規届出（軽自動車）	・北海道内における届出台数は、対前年同月比13.2%減となった。また、対2019年同月比は10.1%減となった。